



## 第 1239 回例会報告

平成 23 年 9 月 15 日(木) 晴

### 会長挨拶

会長 三村昌暉

#### ガバナー補佐事前訪問例会

本日は、ガバナー補佐事前訪問例会です。小松郁俊ガバナー補佐をご紹介します。所属クラブは諏訪大社ロータリー・クラブです。諏訪市では大変知られた方で、職業分類は内科医ですが、地域のまちづくりに熱心に取り組んでおられ、多方面でご活躍されています。後ほど卓話をいただきます。合わせてガバナー補佐事務局の副幹事の笠原秀孝さんもお来訪されています。

さて、9 月は「新世代のための月間」ですが、今年の「新世代月間」は以前とは違う意味を持っています。昨年4月に行われた2010年規定審議会で、新世代奉仕は、ロータリー・クラブの活動の土台となるクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に続く、第5の奉仕部門として承認されました。新しい標準クラブ定款の第5条五大奉仕部門の奉仕の第五部門に謳われることになりました。

昨年のレイ・クリンギンスミスRI会長は、新奉仕部門により、ロータリーの青少年プログラムの価値と、ロータリーの未来へのその貢献度が高まると述べています。

新世代が大切なのは、ロータリーの未来にとってばかりでなく、わたしたちの地域社会や世界全体にとっても言えることです。

第5の奉仕部門となる新世代奉仕は、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年と若者にとって好ましい変化をもたらすことを認識するものです。(国際ロータリー・ニュース)

年齢30歳までの新世代育成のために、ロータリーは年間を通じて数多くのプログラムを地区、クラブに

において実行しております。特に9月を新世代の為の強調月間とし、月間中ロータリークラブは「各ロータリアンは青少年の模範」と言う標語を、クラブ会報や、広報資料に使うよう奨励されています。

担当の会員は、宜しくお願ひしたいと思ひます。

溝口委員長を中心に国際奉仕委員会では、次のような思いを描き、実現に向け行動しております。

フィリピンセブ島及びマクタン島の貧村の井戸建設プロジェクト実施中に交流が生まれた公立マクタン小学校で、音楽教育が殆んど出来ていない事を知り、5月に諏訪地区の中学生の家庭から寄贈された鍵盤ハーモニカを現地の教師に披露したところ大変興味を示し、「是非学童たちに、この楽器を使って音楽教育を施したい」と懇願されました。今期ロータリー年度が始まるに当たり、地元中学校に、生徒たちが小学校で使った鍵盤ハーモニカが不要であれば、フィリピンの学童の音楽教育のために寄贈してほしい旨、お願いいたしました。なんとか80台以上を集めて渡比し、現地の児童にこれを使った音楽教育を始めたいと思っています。ここまでは、現行の地区補助金を利用しである程度の基盤を作り、2013年度からのグローバル補助金を申請できるようにしたいと思います。このプランも新世代奉仕の一環と言えらると思ひます。それ

#### ■ニコニコ BOX

22 名	26,000 円
累計	291,000 円
目標額	130 万円
達成率	22.9%

#### ■今週のこぼ

今週の言葉への投稿がありません。どしどし投稿を!!

原昭一

#### ■出席報告

会員数	33名
出席対象	33名
出席者数	25名
出席率	75.2%
前回修正	84.8%

#### ■ 次回のプログラム

9月29日  
外部講師卓話例会  
「プロに学ぶ」  
クラブ奉仕委員会



2011-2012年度 国際ロータリーテーマ  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
Reach within to Embrace Humanity

ぞれの奉仕活動の境界は有りません。

諏訪湖RC創立時の気概”諏訪の湖を心の鏡として研鑽を深め奉仕の誠を尽くそう“を常に念頭に、学び実践していきたいと思ひます。

◇幹事報告◇

【報告事項】

- ①小松郁俊ガバナー補佐・笠原補佐幹事・三村会長・高山幹事により 11:30 から密度の濃い懇談会が行われました。
- ②先般の3クラブ合同例会には多数の出席ありがとうございました。また、いろいろなお手伝いをいただき御礼申し上げます。

【連絡事項】

- ①ロータリー囲碁同好会から「第 10 回ロータリ全国囲碁大会」10/12(土)の案内が来ています。
- ②岡谷 RC 諏訪大社 RC から例会変更の通知が来ています。
- ③9/23(金)15:00～ 諏訪湖周まちじゅう芸術祭の「諏訪サロン」「レセプション」ハーモ美術館にて行われます。

【受領文書】

ウィークリー＝諏訪 RC  
バギオ日より

第 1239 回例会

「ガバナー補佐事前訪問例会」

小松郁俊ガバナー補佐

会長の挨拶にもある通り、ユニークな小松郁俊ガバナー補佐をお迎えしガバナー補佐事前訪問例会が行われました。紙面の都合上、お話いただいた内容の前半を箇条書きで報告いたします。(文責河西)

- ・職業は内科医。父が常に話していた「患者さんからいただいたお金は地域に返す」という言葉を胸に、地域に貢献できる、地域との関係を大切にしたい医療と生き方を心がけている

- ・蓼科保養学園の嘱託医をしているが、親元を離れきんとした生活を送ると、皆健



康になる。親元を離れ(親の庇護を離れ)、学習より野外活動を優先すると肉体的にも精神的にも健康になることは一考を要する。

・現在の日本の幸せな生活スタイルは1952年アメリカ万博で提唱されたアメリカ風の生活スタイルのコピーである。コマーシャル化され雨あられのごとく私たちに降り注がれた「アメリカ風の生活スタイルの情報」の結果、私たちは家庭生活の精神性を忘れ、パパ、ママ、子供で構成される、きれいな生活スタイルを求めてきた。そして手に入れたのも つかの間、時を経て「家が古い」「車が古い」「顔が古い」になってしまった。次世代は再び、幸せな生活スタイルを求め、古いものは人を含めて捨てられていく。若い人にとって大切なのは 1.子供 2.妻(夫) 3.友人・・・と続き実の親を大切に答えるのは3%のみ、しゅうとに至っては0%という状態である。高齢者の居場所はなくなり、独居老人が増えるのも道理である。考えなければならないことだと思ふ。

・高齢化はますます進み、5万人の公的介護に100億円が必要になる時代がまもなく来る。私は風樹文庫の運営にかかわっているが、この風樹文庫の活動の中で行われている高齢者のあり方は今後の高齢者活動の良い示唆を沢山示しているように思ふ。

(この後クラブ計画書をもとに、RI 会長の言葉、地区ガバナーの言葉を引用しながら、ご指導をいただきましたが、次号に記載いたします)

引き続き行われましたクラブ協議会でも、丁寧なご指導をいただきました。

